

再資源から再利用、暮らしがもっとエコになる

武豊リユースステーション企画書

武豊町役場 厚生部 環境課

2014.11.20

1

企画概要

名称：武豊リユースステーション

事業目的：ごみ並びに資源の運搬費・処理費の削減及び「リユース文化」を根付かせることによる環境意識の高い住民の育成
協力企業：株式会社エイゼン

場所：たけとよエコステーション内事務所（字ヲヲガケ22番地3）

助成：環境省のリユースモデル事業制度により100万円までの助成を受ける（平成26年度内）

試行事業：環境省のリユースモデル事業制度の活用に伴い、平成26年度中は試行事業として本事業を運営する。

試行事業期間において、事業の効果があると判断した場合、平成27年度以降は正式事業として運営を行う。

営業開始日：2015年1月6日（火）（環境省のリユースモデル事業のため年度内は試行事業として運営）

営業曜日・時間：リユース品受付…毎週月～土曜日 9：00～15：00

（たけとよエコステーションに加えて、おおあしエコステーションでも受付を行う）

リユース品交換…毎週火・水・木曜日・13：00～15：00（週3日）

想定来場者数：1日あたり20人（年間来場者：3,000人）

事業効果（見込み）：年間合計：約860,000円の事業効果

（年間処理費…約600,000円の削減・年間資源物売払金…約260,000円の増加）

今後の展望：

環境省のリユースモデル事業期間である年度内の試行事業期間終了後は、町の正式事業として運営。

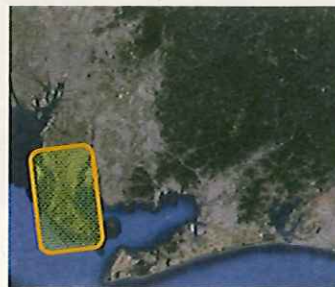
正式事業とする平成27年度以降は、武豊リユースステーション営業曜日に限り、たけとよエコステーションにリユーススタッフを新たに雇用する。それに伴い、たけとよエコステーションの運営費の増額（1人分の人件費）で予算要求を行う。

2

“武豊リユースステーション”を企画する理由

武豊町は、現在ごみ処理の円滑化・効率化を図るため、
新たなごみ処理施設の設置に向けて進んでいます。

(H34年度供用開始予定)



そういった流れの中、
町民に今まで以上に環境行政に関心を持ってもらい、
ごみ処理、そして環境全般への意識を持つ町民を増やしたいと考えています。

今回、資源回収拠点であるエコステーションを運営している株式会社エイゼンの協力の下、
環境省からのリユースモデル事業の助成を受けながら、
新しい町民参加型のリユースモデルを展開することで、

知多半島南部の環境先進地を目指します。

3

「武豊町」の環境啓発活動

環境課では、住民のみなさんに身近な環境美化への意識を向上してもらうことを目的として毎年定期的に環境イベントに参加する機会を設けています。

現在、環境課が行っているイベントは大きく分けると2種類あります。

○河川や周辺道路の清掃といった住環境に関する環境美化活動

- ・ごみ散乱防止町民行動月間(6月)…各区・団体に向けてごみ拾いや草刈りの呼びかけを行う
- ・水辺クリーンアップ大作戦(6月:富貴地区、10月:武豊地区)…「明るい社会づくり運動武豊」主催で河川周辺の清掃
- ・町内一斉クリーン運動(9月)…各地域ごとに道路沿いや公園などの一斉草刈りを実施

○ごみ減量、資源物増量を目的とした分別意識向上活動

- ・夏休みの環境学習(夏休み期間中/町内小学高学年対象)…リサイクル工場への工場見学
- ・武豊リユースパーク(10月)…武豊町スポーツフェスティバル実行委員会内のイベントで詳しくは次ページ

4

武豊リユースパークとは？

平成23年度から毎年10月に開催されるイベントで、住民の家庭にある「まだまだ使えるもの(＝リユース品)」を従来の物々交換のように、個人対個人で交換するものを交渉するのではなく、各家庭から集めたリユース品を展示させることによって、新しい物々交換の仕組みを提案し、地球温暖化対策活動の4Rの1つである「リユース」を多くの人に知ってもらうことを目的としています。

○リユースパークの流れ

1. 事前にリユース品を役場環境課まで提供してもらう
2. 集まったリユース品を総合体育館サブアリーナに展示する
3. 当日、リユース品の中から参加対象者は気に入ったものを持ち帰る



*参加対象者:リユース品提供者・同時開催イベント「たけとよウォーカー」の完歩者

(平成25年度実績)

収集点数:約5,250点、リユース品提供者数:464人

参加人数:871人 *収集物品からリユースされた割合は8割程度

アンケート結果

- ・Q1. あなたはリユース品の提供をしましたか？ (有効回答731人)はい…38%、いいえ…62%
- ・Q2. この企画を通じてリユースの意識が高くなりましたか？ (有効回答720人)
非常に高くなった…35%、少し高くなった…54%、あまり高くならなかった…4%、変わらない…7%
- ・Q3. 環境用語の4Rのうち、意味を知っているものはありますか？ *複数回答可 (有効回答709人)
リサイクル…663人、リユース…508人、リフューズ…112人、リデュース…202人、どれも知らない…34人
- ・Q4. 今後も「武豊リユースパーク」を続けてほしいか？ (有効回答723人)
続けてほしい…99%、続ける必要はない…1%

平成26年度武豊リユースパークチラシ (表面・裏面)

たけとよウォーカー内 環境課イベント



家庭に眠っている「まだ使えるもの」でリユース体験してみませんか？

「武豊リユースパーク」とは、みなさんが持ち寄った品物(リユース品)を総合体育館に並べて、その中に気に入った品物があれば、無料で持ち帰ることができるリユースのイベントです。お宅にリユース品がある人も振り出し前を探した人もリユースに参加してみませんか？

日 時:平成26年10月26日(日) 9:00~15:00 (雨天決行)

場 所:武豊町総合体育館 サブアリーナ

参加対象者:リユース品提供者・たけとよウォーカー完歩者

リユース品提供者
提供して頂いた方には、引換券に貼る
リユース品交換券(赤)と短冊を送呈
10月6日(月)から
環境課で受付開始!
当日も会場内でお昼12時まで受付します

**総合体育館
サブアリーナ**
ご提供頂いたリユース品が
サブアリーナに展示されます
欲しいものが
見つかった!

リユースパーク参加者
リユース品交換券(青)、
リユース品交換券(緑)で
お好きなリユース品を
持ち帰ることができます!

たけとよウォーカーについて詳しくは、総合体育館まで♪

たけとよウォーカー完歩者
たけとよウォーカーの完歩者には、
リユース品の引換券に貼る
リユース品交換券(緑)を差し上げます



*総合体育館サブアリーナでのリユース品の引換は完歩者です。引換時は職員の時業に従ってください。

リユース品提供時の注意事項

a. リユース品の提供について

(取り扱う種類)

- ①キッチン用品・食器 ②家事・日用品類 ③育児関係・おもちゃ
- ④ファッション・衣料品 ⑤本・CD・DVD・ゲーム

- ・ガラス・陶器類など割れやすい品物に関しては、新聞紙に包むなど割れにくい工夫をしてから出品してください
- ・分別コンテナ内にも大きさ(タテ30cm×ヨコ46cm×高さ30cmのもの)に限りませ
- ・本や書籍などセットになるものは、まとめてから出品してください
- ・提供の際は、できるだけ掃除(衣類の場合は洗濯)を済ませてください
- ・リユース品提供は何点でも構いませんが、複数点提供の場合は点数を数えて来てください

b. 受付できない物品

- ・汚れ、破損の酷い物品
- ・(家電製品の場合)部品が欠品しており、機能に支障があるもの
- ・町の指定で、処分する際に「処理困難物」として扱われるもの
- ・家電リサイクル法の対象製品(テレビ、エアコン、冷蔵庫/冷凍庫、洗濯機、衣類乾燥機)
- ・危険物、劇毒物、放射物、化粧品、医薬品、コピー機品、その他法律上販売が禁止されているもの
- ・無牌機など、使用の際に専門の知識を要するもの
- ・個人情報等が漏洩する恐れのあるパソコンの周辺機器

c. 注意事項

- ・リユース品の受付は、10月6日から10月24日までの平日(8:30~17:15)及び10月26日(たけとよウォーカー-日お昼12時までの期間)に限りませ
- ・どのような品物であっても、品物の引き取りに何うことはありません
- ・リユース品受付時、リユース品引換時に氏名等の記入が必須です
- ・リユース品を何点提供してもお渡しする「リユース品交換券」は一枚のみとなります

「リユース」って一体なんのこと？

リユースは、「再び」という意味の【re】と、「使う」という意味の【use】を合わせた言葉です。つまり、リユース【reuse】とは、日本語にすると「再利用」という意味です。昔からよく言われている「もったいない」という考え方は、まさにこの「リユース」の考え方です。

壊れたり古くなったものや興味なくなつて、もう使わないと思ったものでもすぐに捨てる、悪くなったものを修理して長く使うように心がけたり、関心がありそうな友人に譲るなどして、品物を大切に使うことでごみの量を減らすことができます。

今回環境課が主催するリユースパークは、町民のみなさんにリユースを気軽に参加して頂くためのイベントです。あなたも「環境に優しいリユース」を体験してみたい方がいたら、



武豊町 -Taketoyo Town-

42,765人(平成25年12月1日現在)
25,824㎡
豊田三豊地域緑道
みぞ、たまり、たぐり

武豊町は、
町づくりに
取り組む中で、
環境にやさしい町づくりを
進めています。



武豊町長 西山 芳博

武豊リユースパーク 環境化防止、循環型社会形成

開催日：平成25年10月19日(日)
開催場所：武豊町総合体育館 サブアリーナ



武豊リユースパークは、家庭から排出されるゴミの減量化及び地球温暖化対策活動の一環である4Rのうち「リユース」の意識向上を目的としたイベントで、フリーマーケットやバーのように入札のやり取りを発生させない「新しいリユース」の定着です。
家庭に留まっている「自分では使わないが、まだまだ使えるもの」(以下「リユース品」という。)を町内から募集し、集まったリユース品を会場に展示のように展示します。従来の物々交換のように個人と個人で交換するのではなく、展示されたリユース品の中から

参加者が気に入ったものを譲渡するという仕組みからリユースを促します。
会場は「武豊リユースパーク」の仕組みを利用したリユース会を、町内の各イベントとあわせて開催することで、リユース意識の向上や活動を行うきっかけとしての機動を期待します。
毎来週には「武豊リユースパーク」の仕組みを町内各所に展開することで、イベント開催期間に関わらず、町民の方のいつでもリユースの活動ができるよう検討する予定です。

一級建築士事務所 環境設計 武豊町スポーツフェスティバル実行委員会 環境まちづくり推進課 環境まちづくり推進課 環境まちづくり推進課

武豊町におけるESDの取り組みの代表的な事例でもあります。

出典：自治体職員のためのESDハンドブック
愛知県環境部環境政策課ESD会議支援室

ESDとは…

「持続可能な開発のための教育」の略称で、環境、貧困、人権、平和、開発といった、現代社会の様々な課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組むことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そして、それにより持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動のことです。

2014年11月にESDに関するユネスコ世界会議が愛知・名古屋で開催されるため、県内自治体の取り組みが取り上げられています。

武豊町に「リユース文化」を根付かせるために

「武豊リユースパーク」の成功を受けて、
環境省からのリユースモデル事業の助成を活用しながら、
今後さらに武豊町にリユースの文化を根付かせることで、
4Rへの関心、そして環境行政への興味を高めてもらうために、
いつでもリユース体験ができる施設を設置します。

新しいリユース施設の名称は、

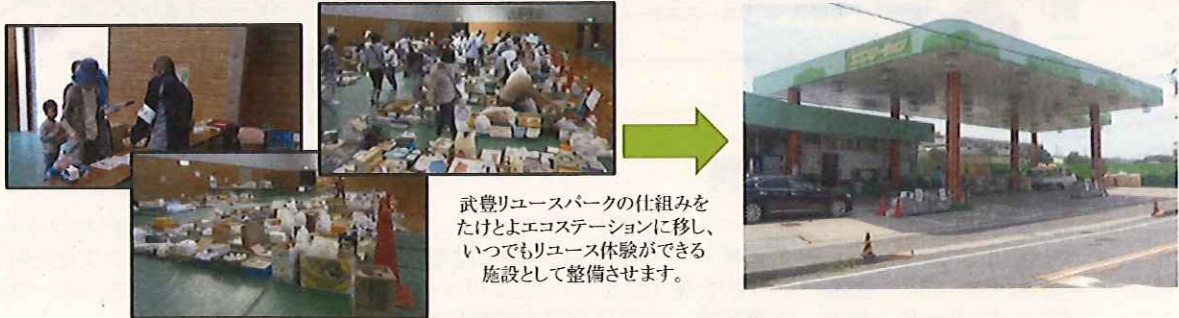
「武豊リユースステーション」

(2015.1.6 (火) オープン予定)

武豊リユースステーションとは？

年に1回のリユースイベントである武豊リユースパークの仕組みを資源回収拠点として機能している「たけとよエコステーション」内に導入することで、**常設のリユース施設**として整備させます。

事業目的：住民に「リユース文化」を根付かせる。



毎月およそ7,800人来場し、合計100t近い資源物を回収してリサイクルに繋げているたけとよエコステーションですが、排出される資源物の中には、まだ使えるリユース品も多く捨てられています。

環境省からのリユースモデル事業の助成を活用しながら、たけとよエコステーション内にリユースの仕組みを導入することで、捨てられてしまう品物をもう一度誰かに使ってもらえるようリユースできる施設を整備します。

9

場所・日時・対象者

会場：たけとよエコステーション内事務所（武豊町字ヲヲガケ2番地3）

**日時：リユース品受付…たけとよエコステーション営業日
おおあしエコステーション営業日**

*エコステーションの営業日は、毎週月～土曜日 9:00～15:00(祝日含む)年末年始除く

リユース品交換…毎週火・水・木曜日 13:00～15:00

*リユース品の交換は、施設内の混雑を避けるためにまずは曜日・時間を指定して運営します。

対象者：リユース品提供者→武豊町内在住者

リユース品を提供して頂いた方には、リユース品交換券を差し上げます。

リユース品交換者→リユース品交換券を持っている人

*町外の方であっても交換券を譲り受けた場合は、リユース品の交換をすることができます。

想定交換来場者数：1日あたり20人

(参考) 過去3年間の武豊リユースパークへのリユース品提供者数を日割りにした平均値÷2(午後のみのため半日分)+α

H24 442人÷15日=29.4人

H25 464人÷15日=30.9人

H26 464人÷15日=30.9人 平均30.4人÷2=15.2人+たけとよエコステーション来場者=20人

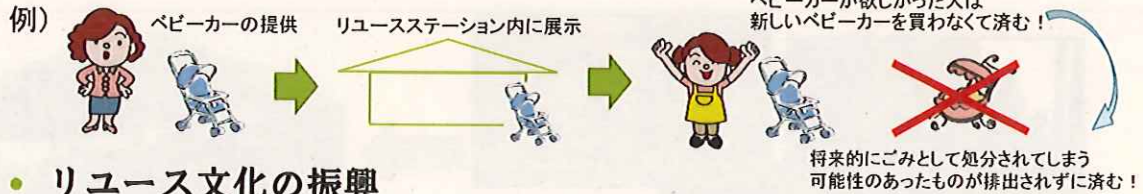
*「武豊リユースステーション」の仕組み上、リユース品交換券が必要となるので武豊リユースパークの来場者数を参考にはしません。

10

期待される効果

● ごみ処理費用の削減

常にリユースすることができる施設を開設することで、「ごみ」や「資源」として排出・処理されてしまう品物の数を減らします。また、リユース品を受け取った人は、本来購入するはずだった品物を購入せずに済むため、購入抑制としての減量効果もあります。



● リユース文化の振興

武豊町には、リユース業を行っている販売店が少ないため、町民の方がリユースに触れ合う機会がありません。今回、常設の武豊リユースステーションを整備することで日常の中にリユース文化を町内に広めます。また、金銭のやり取りを発生させない新しいリユースの仕組みを提案することで、リユースのオピニオンリーダーとなり、近隣市町への波及効果を期待します。

● 町民の環境への意識の向上

武豊リユースステーションをきっかけに環境について考える機会を持ってもらうことで、環境問題全般への意識の高い町民を育成します。それにより、リユース以外の4Rであるリフューズ、リデュース、リサイクルへの関心を高め、ごみの減量を実現するといった、二次的効果も期待します。

11

事業効果（運搬費）

過去3回開催した武豊リユースパーク収集品目を見ると「ファッション・衣料品」が最も多く集まります。「武豊リユースステーション」がオープンした場合においても、集まる品目の比率はあまり変化はないと思われます。

仮にファッション・衣料品が集まりすぎてしまい、サイズや好みの都合でリユースされないものが多くなってしまった場合は、たけとよエコステーションの回収物と同様に株式会社エイゼンによるリサイクルルートにて処理を行います。

地区回収で衣料品などの布類を回収した場合、**1kgあたり4円**の運搬費が必要となりますが、エコステーションで処理することにより**運搬費はかからなくなります。**

また、ファッション・衣料品に次いで収集点数の多い「キッチン用品・食器」は処理方法としては「埋立不燃物」として処理される品物が多く出されます。埋立不燃物は、地区回収で集めた場合1kgあたり9.2円かかりますが、エコステーションで回収した場合は、半額の4.6円で済みます。

つまり、**1kgあたり4.6円の経費の削減**となります。

(単位：点数)	H23	H24	H25
キッチン用品・食器	約550	1025	829
家事・日用雑貨品	約420	569	801
育児関係・おもちゃ	約400	642	773
ファッション・衣料品	約1000	1730	2257
本・CD・DVD・ゲーム (H23は上記に加えて文庫本等の点数も含む)	約395	558	425
その他	-	219	197
合計	約2765	4743	5282

「武豊リユースステーション」にリユース品を提供することをきっかけに地区回収からエコステーションに資源物を出す人が増えれば、運搬費を安くすることができます。

12

事業効果（処理費）

現在、武豊町で「再資源不燃物」を処理しようとする、**1kgあたり18円**の中間処理費が必要となります。

（参考）平成25年度でエコステーションで回収した不燃物の中間処理費は、

$294,250\text{kg} \times 18\text{円} \times \text{消費税}(5\%) = 5,561,325\text{円}$ かかっています。

「武豊リユースステーション」を営業することで、本来処理費がかかってしまう不燃物の中でもリユースされやすい不燃物（小型家電やナベカマ類）が仮に半分リユースされた場合、

年間で約600,000円分の処理費を削減することができます。

$5,561,325\text{円} \div 1.05 \times 0.21 \div 2 \times 1.08 = \text{約}600,000\text{円}$

（前年度不燃物中間処理費÷前年消費税（5%）×リユースされやすい品目（21%）×半分リユースされた場合×今後の消費税（8%））

平成25年度の不燃物選別処理業務（株式会社エイゼンより発行）によると、最もリユースされやすい品目である小型家電関係（雑品と記載）が総不燃物中の17%、同様にリユースされやすい品目のナベカマ類が4%占めています。その合計で不燃物中リユースされる割合を21%として算出しました。



13

事業効果（歳入面）

エコステーションで回収した資源物は、株式会社エイゼンを通して資源物が売られ、それが武豊町の歳入となり、ごみ処理行政の運営費として活用されています。

（参考）平成25年度のエコステーションの総来場者数及び回収した資源物の回収量と売払い金額

総来場者数=85,446人 資源物総回収量=1,207,270kg 売払い金額合計=7,512,157円

「武豊リユースステーション」を運営することにより、普段来場者数の少ない火・水・木曜日の午後に新たにエコステーションの来場者が増えると思われます。リユースステーションの来場者は、その際、同時にエコステーションに資源物を排出すると考えられます。

それに伴い、資源物の回収量及び売払い金額が**3.5%増えた場合...**

年間約260,000円の歳入増となります。

$H25\text{年度年間来場者が持ち込んだ総資源物の売り払い額による歳入額}(7,512,157\text{円}) \times 0.035\% = 260,000\text{円}$

武豊リユースステーションの想定来場者数...1日あたり20人

火・水・木曜日に営業をするため、 $20\text{人} \times \text{週}3\text{日} \times 50\text{週}$ で年間**3,000人**の増加が見込まれます。

*平成25年度の一人当たりの資源物搬入量（総回収量÷総来場者数）=約14kg→3,000人増えた場合、42,000kgの資源物回収量の増加が見込まれます。

その場合、資源物の総回収量が約1,250,000kgとなり、資源回収量は、前年度比**3.5%増加**となります。

14

事業効果（まとめ）

処理費：約600,000円の削減となり、
 歳入：約260,000円の増加が見込まれるため、
 「武豊リユースステーション」をオープンさせることで、

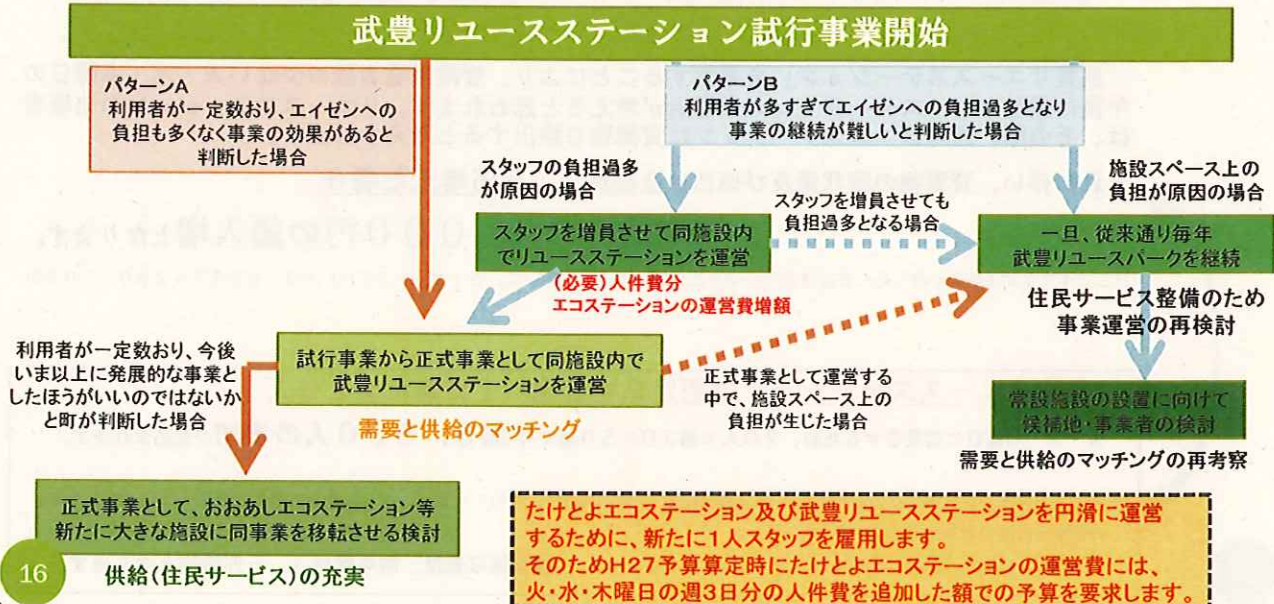
年間合計：約860,000円の効果が生じます。

さらに、エコステーションに来る機会が増えるため運搬費の削減も期待できます。
 加えて、リユースの二次的効果である「購入抑制」の効果が得られることができるので、数字に表れない部分においても事業効果があるのではないかと考えられます。

今後の展望

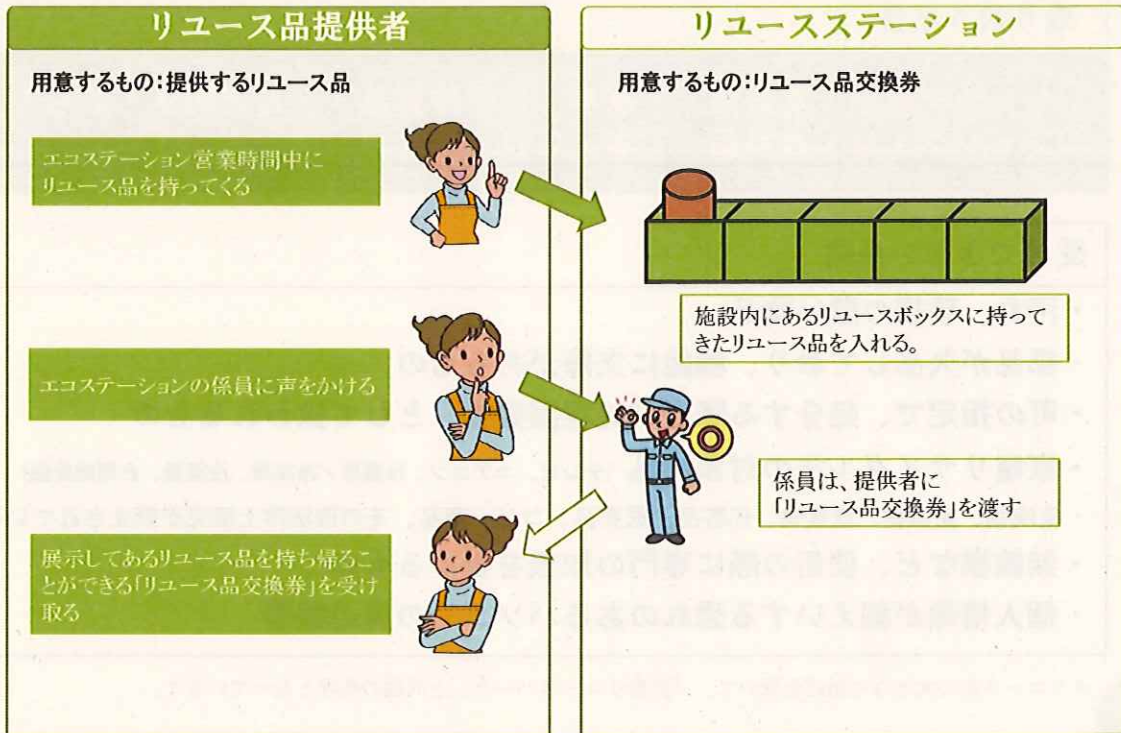
Q. 武豊リユースステーションは試行事業とのことだが、今後はどうしていく予定なのか？

【以下のフローチャートの通り、今後の展開とします】



リユースステーションの流れ（受付編）

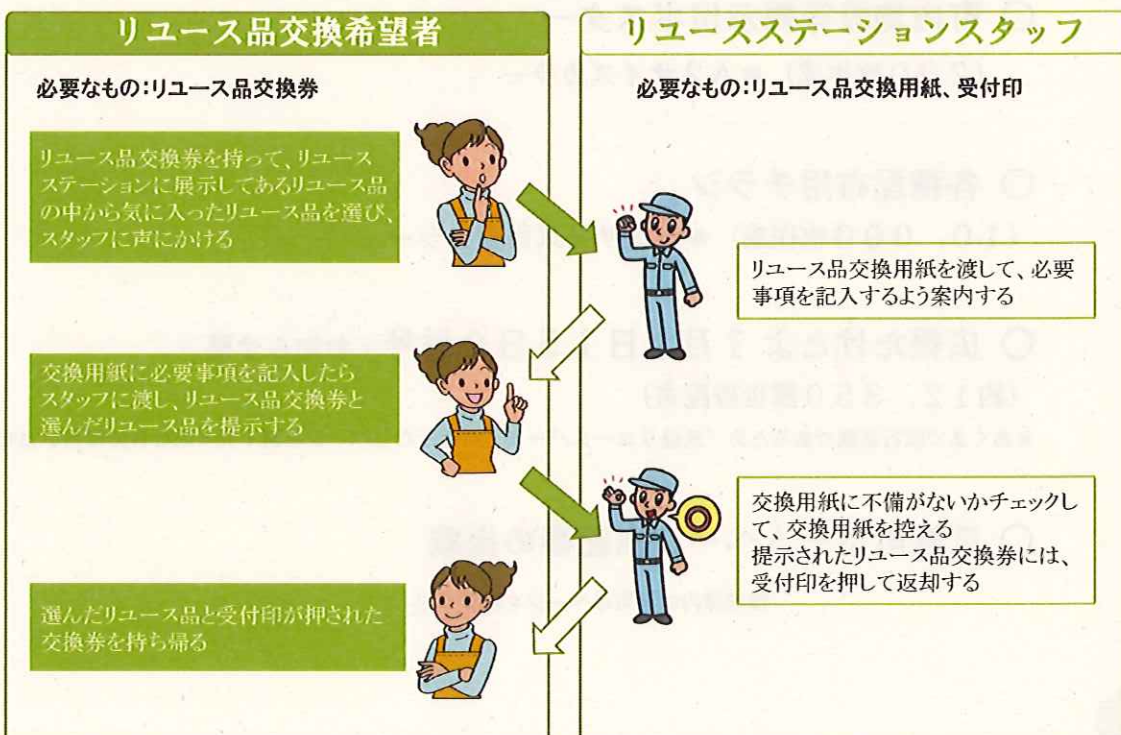
受付日時...週6日 月～土曜日 9:00～15:00



17

リユースステーションの流れ（交換編）

交換日時...週3日（火・水・木曜日） 13:00～15:00



18

受付できる品目・できない品目

取り扱う品目

- ①キッチン用品・食器類 ②家事・日用雑貨品 ③育児関係・おもちゃ
④ファッション・衣料品 ⑤本・CD・DVD・ゲーム

受付できない品物

- ・汚れ、破損の酷い物品
- ・部品が欠品しており、機能に支障があるもの
- ・町の指定で、処分する際に“処理困難物”として扱われるもの
- ・家電リサイクル法の対象商品（テレビ、エアコン、冷蔵庫／冷凍庫、洗濯機、衣類乾燥機）
- ・危険物、動植物、飲食物、化粧品、医薬品、コピー商品、その他法律上販売が禁止されているもの
- ・無線機など、使用の際に専門の知識を要するもの
- ・個人情報漏えいする恐れのあるパソコンの周辺機器

*リユース品の大きさの指定を除いて、「武豊リユースパーク」と同様の条件となっています。

19

告知方法

○ 町内施設等掲示用ポスター

(200枚作成) *A2サイズカラー

○ 各種配布用チラシ

(10,000枚作成) *A4サイズ両面カラー

○ 広報たけとよ 1月1日15日合併号《お知らせ欄》

(約12,350部世帯配布)

*あくまで試行事業であるため「武豊リユースパーク」のような2ページを割く大々的な告知は行いません。

○ 武豊町ホームページ内記事の掲載

環境課内に専用のページを設置予定

20

スケジュールまとめ

日程	やること	備考
7月8日	環境省よりリユースモデル事業の募集の連絡	
8月20日	武豊町が「武豊リユースステーション」としてモデル事業の応募	株式会社エイゼンと調整
9月19日	環境省より「武豊リユースステーション」の採択の連絡	
9月26日	環境省使用済製品等のリユース促進事業の事務局が三菱UFJリサーチ&コンサルティングに決定	
10月26日	第4回 武豊リユースパーク開催	
11月上旬	「武豊リユースステーション」のチラシ・ポスター完成	
11月8日・9日	ESDユネスコ世界会議併催イベントでの告知 場所:名古屋テレビ塔周辺のエンゼル広場	武豊町ブースでポスター掲示・チラシ配布
12月中	清掃業者による会場の清掃 会場掲示用案内看板完成 ファイル・用紙等運営必要備品等購入	
	(来場者多数の混雑によるトラブルを避けるため、広報への掲載はお知らせ欄のみ)	
1月6日	武豊リユースステーションオープン！！	
	(以後、毎月提供者数、提供点数、交換点数を町に報告してもらう)	

武豊リユースステーション報告事項

今後、環境省との協議の上、運営にあたっての報告事項を決定していきます。

また、エイゼンからの報告事項を通して、将来の運営方法の策定についての検討材料としても活用していきます。

●現在決まっている武豊町から環境省への報告事項

- ・集まっているリユース品の収集重量
- ・リユース品の交換点数（収集重量から在庫重量を差し引いて算出）
- ・リユース品提供者数
- ・リユース品交換者数
- ・その他、意識に係るアンケートなど

なお、試行事業期間中はリユースステーション運営に係る日報をエコステーションスタッフに記入して頂きます。

- ・収集点数及び重量
 - ・（火・水・木の場合）リユース品交換者数
 - ・そのほか備考として来場者によるリユースステーションへのお問い合わせなどを自由記入で記録
- *お問い合わせ内容等を通して、混雑等への対応に速やかに対応できるようにします。

トラブル発生時の対応について

武豊リユースステーションを運営する会場の「たけとよエコステーション」は、現状においても駐車場が多いため、交通に関するトラブルが発生する恐れがあります。そのため、時間がかかってしまうリユース品の交換においては、来場者数の少ない毎週火・水・木の13時以降という時間設定にしたのですが、それでもこの武豊リユースステーションを運営することが原因のトラブルが発生する恐れがあります。その際の対処については、以下の通り対応したいと考えています。

リユース品提供時

ケース① スタッフが忙しくてリユース品交換券が渡されるまで待たないといけないため混雑が生じた場合

…リユースボックスの近くに交換券を置くようにし、提供者がスタッフに声をかけずに交換券を持ち帰ることができるようにする。

ケース② すでに混雑が生じており、施設内に入ってリユース品の提供作業を行うとより混雑してしまう場合

…施設の入口に「施設内混雑の為、リユース品の受付は中止しております。大変申し訳ありませんが、後日改めて提供にお越しください。」という旨の案内（看板）を掲示して、施設内に入れさせないようにする。

リユース品交換時

ケース① リユース品交換用紙への記入にかかる時間が原因で混雑を引き起こしている場合

…交換用紙記入にあたってスタッフは貼りつかないでもいいような形として、記入事項、アンケート内容等を再検討して、記入内容を簡素化させる。

ケース② リユース品を選ぶのにかかる時間が原因で混雑を引き起こす場合

…陳列する際にリユース品のジャンルを細分化させることにより、並んでいるものをわかりやすく提示することで、手に入れたいリユース品を探しやすくすることで滞在時間を短縮させる。

それでも、定期的にトラブルが発生する場合は、エイゼンと環境課、環境省の協議の上、武豊リユースステーションの運営方法を変更する場合がございます。